



三笠

阿久根市立三笠中学校
学校便り 令和元年度3月号

校訓
自主
協調
持続

生活実践目標
美:場を清める
礼:礼を正す
時:時間を守る

学校教育目標
未来を拓く、心豊かでたくましい生徒の育成

創立 1947 (創立 72 周年)
卒業生 10, 513人



第73回 卒業式

本年度のご支援・ご協力、ありがとうございました！

平成から令和になった本年度、本校の教育活動も充実し、大きな成果を上げていました。しかし、新型コロナウイルスが日本を襲い、3月に入ってまさかの臨時休校。卒業式も3年生と保護者、教職員のみでの実施でしたが、式に臨む3年生43名の姿には大きな感動を覚えました。そして本日、修了式を行い、本年度の教育活動を終了しました。これまで保護者、地域の皆様には本校への温かいご支援・ご協力を頂き、心から感謝申し上げます。来年度も生徒一人一人の力を最大限に伸ばせるよう、教職員一丸となって取り組んでまいります。どうぞ、今後ともよろしくお願ひいたします。

校長 四元 清路

校長式辞 (要約)

- 「平成」から「令和」に変わり、日本中が華やいだ雰囲気の中、本校も「あいさつ 返事 チーム 三笠」をスローガンに、やる気と熱気あふれる雰囲気の中で新年度がスタートした。多くの行事を充実した形で行い、また、校旗の新調や仮設校舎への移転、むし歯治療率100%達成等もあった。そして最後の大きな行事である卒業式は例年以上に華々しく実施するはずだった。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の危機により全国各地の学校が臨時休業、様々な行事等の中止も相次いだ。そんな中、卒業式も心配だったが、縮小した形ながらも挙げてきたことに安堵感と喜びを感じている。人生には予想もしなかったことが起こることも少なくない。そのとき大事なことは、事態を冷静に受け止め、何ができるかを考え、行動に移すことだ。ベストではなくとも、少しでもベターな状況にするために、決してあきらめず、全力を尽くすことが大事であることを改めて感じている。
- 思い出というのは自分が本気で関わったことで刻まれるものであり、今、君たちの脳裏に浮かぶあの日あのときは自分が精一杯取り組んだ証なのだ。また、今日の日を迎えるまでには多くの方々の支えがあったことも忘れてはならない。卒業は自分を育ててくれた方々に感謝するときであり、とりわけ、いつも身近で支えてくださった保護者の方には心を込めて感謝の気持ちを伝えてほしい。
- 現在の日本人の平均寿命は84歳。一生を24時間とし、この世に生まれた時を午前0時とすると今の君たちの年齢はなんと午前4時17分、まだ夜も明けない時間にいるのだ。夜明け前、その日がどうなるかわからないのと同じように、卒業の今の時点では人生がどう花開いていくか誰にも分からない。それは今後の自分の行動次第で決まっていくからだ。卒業後の進路を自分で選択したように、これからは自分の意志で決断し、行動する場が多くなる。それが自分で人生を切り開いていくことであり、自分の人生を作り上げていくことなのだ。だから、おもしろいし、やりがい、生き甲斐もあるのだ。
- まもなく、桜の花が満開の時期を迎えるが、花の芽は実は今年の夏にはもうできていた。しかし、夏にできた芽はそれ以上大きくならず休眠状態になる。冬の寒さにじっと耐えた休眠中の芽は春を迎えると再び成長し、一気に開花する。これを「休眠打破」と言う。桜の花が美しく開花するには、この冬の寒さが必要であり、桜は厳しい寒さの中で咲こうとする力をじっくりと育てているのだ。これは人にも当てはまる。人生には何もかもうまくいき、楽しく、うれしいことが続く温かい時期がある反面、悲しいことや苦しいことが続き、何をやってもうまくいかない厳しい寒さの時期もある。しかし、そんな厳しい時期こそ桜のように「生きる力」が蓄積されているのだ。高くジャンプするには一度深くしゃがまなければならない。「修羅場をくぐった人間は強い」私はよくそう思う。苦しいこと、きついこと、困難なことを乗り越えるたびに人は強くなる。多くのことを学び、成長し、力をつけていく。そしてその苦しいときに頑張れる原動力が何としても夢を実現させたい、必ず目標を達成するという強い気持ちだ。今、君たちの前には無限の可能性が広がっている。その可能性を現実に変えていくのが君たち自身の頑張りだ。人生は「できるか、できないか」ではなく、「やるか、やらないか」。苦しいこと、きついことにへこたれることなく、夢を力に、ファイトを持って道を進んでほしい。
- 43名の卒業生諸君が「三笠中学校卒業生としての誇り」を胸に、困難に負けず、夢や希望を忘れず、意欲を燃やし、充実感と感動にあふれる人生を歩むことを祈りたい。



式が終わり、いよいよ退場という時、突然、生徒席から「卒業生起立!」、「ただ今から校長先生への卒業証書授与を行います」の声。舞台上で温かい言葉の卒業証書と花束を頂きました。一生忘れられない感無量の卒業式をしてくれた生徒たちに感謝の気持ちで一杯です。

卒業生代表あいさつ (全文) 卒業生代表 松崎康大



まだ時折冷たい風に身を震わせながらも、暖かい日の光に芽吹く春を感じる今日、私たち43名が卒業を迎えられることを心より嬉しく思います。こうして卒業生みんなの顔を見ていると、ここで過ごした3年間の様々な出来事が走馬灯のようによみがえってきます。3年前の入学式の日はいくの雨でした。式が始まる前に待機していたテントの中でさっそく先生方に叱られた私たちでしたが、よく叱られるという点では3年前も今も変わっていないかもしれません。入学当初は緊張でおとなしかった私たちに、先輩方はいつも優しく、私たちはすぐ1年生らしい無邪気さを取り戻しました。2年生となり、修学旅行に行く頃にはすっかり打ち解け合う仲間になっており、行事の度に一致団結して取り組み、先輩として後輩を引っ張っていく立場になっていました。そして3年生。何もかもに「中学生最後」という言葉がつき、重圧を感じながらも、3年生として全力でがむしゃらにやってきました。まず、最後の合唱コンクール。はじめは恒例の言うことを聞かない男子とやる気はあるが、恥ずかしがり屋な女子という構図で幕を開けましたが、練習を重ねる度に本気度が増していき、見違えるような歌声を体育館中に響かせることができました。次に最後の体育大会。応援団は夏休みから練習を始め、クラス同士でピリピリするほど本気になって挑み、応援団を中心に熱い戦いが繰り広げられました。そして最後の学習発表会。今度はクラスの垣根を越えて、学年全体で協力しました。3年生の劇の題名は「合唱コンクール」と聞いて、ここでも歌かと少しうろたえましたが、学年全体が一体となったときのパワーは凄まじく、迫力のダンスやパフォーマンス、劇、合唱とまさしく「最後」にふさわしいものを作り上げたと自負しています。先生方は常に私たちのことを考え、導いてくださいました。先生方が私たちのために宿題を出してくださる度に、私たちは口をそろえて「減らしてください」と懇願し、先生方はさぞ苦悩されたことでしょう。しかし、そのとき私たちは団結する力を学ぶことができました。そして結局減らされなかった宿題のおかげで学力まで培うことができました。笑い合ったり、ときには叱られたりしつつ、成長することができました。ありがとうございます。そして、お父さん、お母さん。こんなに大きくなるまで育ててくれてありがとうございます。父のように言葉ではなく、行動で示せる人間に、母のように他人を思いやり、寄り添うことのできる人間になるにはまだまだですが、私たちなりに早く立派な大人になれるよう頑張ります。それまでよろしくお祈りします。3年間で振り返れば、本当にたくさんの方がいました。しかし、一番多かったのは何でもない日だと思います。くだらない話で騒ぎ合った、ちょっとしたことで笑い転げた、そんな日常の中で、私たちは仲を深め、勉強にいそしみ、部活動で汗を流し、時には涙を流し、心身ともに成長してきました。決して楽しいことばかりではなかったかもしれない、越えられない壁に出くわしたり、後悔にさいなまれたりしたこともあったかもしれない。それでも、ここまでやってこられたのは私たちの日常に辛いことも忘れさせてくれる、何でもないことのように思わせてくれる仲間がいたからこそです。この日常が私の一番の思い出です。卒業生の皆さん、今どんな気持ちでしょうか。みんなそれぞれでしかるが、共通するのは寂しいという気持ちではないでしょうか。その気持ちは私たちの3年間で充実したもので、私たちがこの3年間で大好きである何よりの証拠です。この43名全員でしか過ごせない3年間でした。みんな本当にありがとう。今日から私たちはそれぞれの道へと進んでいきます。旅立ちへの希望しかないといえばそれは嘘になります。本当はまだみんなとここにいたいという気持ちもあります。でも今はその気持ちをそっと胸にしまい、強く羽ばたいていこうと思います。最後になりましたが、お世話になったすべての方々、この3年間で共に過ごしたみんな、そしてたくさんのお出会いと思い出をくれた三笠中に心からの感謝を込めて卒業生代表のあいさつといたします。

令和2年4月の主な行事予定

日	曜	行 事
3	金	入学式準備(10:30～ 1・2年生全員)
6	月	新任式 始業式 第74回入学式
7	火	身体検査 知能検査等
9	木	2・3年生PTA 学級役員決め
11	土	心の教育の日 生徒会入会式
13	月	家庭訪問スタート ※詳しくは後日お知らせ
30	木	交通安全教室(1年生自転車安全指導)

令和2年度人事異動

この度の人事異動で本校を離任することになりました。

職 名	氏 名	新任校等
校 長	四元 清路	定年退職
教諭(理科)	茅野 武史	奄美市立朝日中学校へ
教諭(国語)	南 英里佳	出水市立出水中学校へ
教諭(保体)	永田 豪	阿久根市立脇本小学校へ
養護教諭	楠元 政江	出水市立出水中学校へ
教諭(保体)	堀口 文悟	薩摩川内市立海陽中学校へ(予定)

皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

学校ホームページでカラー版が見られます。また、最新の情報は学校ブログで更新しています。

<http://www.school.city.akune.kagoshima.jp/mikasa/> または、阿久根市立三笠中学校で検索！